



## 10/8 (金) 児童生徒代表作文発表から～前期終業式において～

「前期をふりかえって」 4年 大川 涼太

ぼくが前期にがんばったことは二つあります。

一つ目はオンライン学習です。コロナのかんせんよぼうのため、9月がオンライン学習になりました。その中でがんばったことは国語です。国語で「一つの花」の登場人物の気持ちをそうぞうして考えるのをがんばりました。そして、考えたことを進んで発表しました。また、新しい漢字をがんばって書きました。オンライン学習で楽しかったことは、きゅうけいの時間にみんなで話しあったことです。

二つ目は金かんです。ぼくは、3年生の時に金かんに入りました。楽器のたんとうはチューバです。ドレミファソラシドのゆび使いをおぼえました。茶色の小びんやキラキラ星をえんそうしました。みんなであわせるときは少しきんちょうしたけどうまくできました。

後期は、前期にしなかったこと、やれなかったことにちょうせんしてがんばりたいです。



「前期をふり返って」 6年 宮窪 飛駕

ぼくは前期をふり返って、学習面と、生活面でそれぞれちょう戦できたことがあります。学習面でがんばった教科は二つあります。

一つ目は、算数です。学年が上がって授業内容が難しくなりました。でも、友達に分からない所を聞いたり、協力したりしながら学習して、理解をより深め、苦手だった分数の計算も得意になりました。

二つ目は社会です。算数と同じで、授業内容が難しくなりました。特に歴史の登場人物や重要な場面が多く、覚えるのが大変でしたが、ノートに分かりやすくまとめたり、「NHK フォースクール」で予習・復習したりして苦手をこくふくできました。

生活面でよくできたことは、コロナウイルス対策です。登下校時に消毒や、手洗いうがいをして感染対策がしっかりできました。

後期にがんばりたいことは、みなみフェスティバルです。ぼくは、みなみフェスティバルの学年実行委員をしています。ぼくたちが中心となって、役決めや話し合いを進めています。クラスのみんで楽しく劇ができるように協力しあっていきたいです。

「前期をふりかえって」 8年 筒井 琴子

私が前期をふり返って、良かった点、また、心に残った経験が一つずつあります。

始めに、良かった点です。私は8年生になって、7年生の時よりも授業の内容が難しくなったなと感じました。覚えなくてはいけない用語や公式が増え、毎日の自主学習が大変になりました。中間テストでは、十分に対策がとれず、思うように点数がとれませんでした。このままではよくないと感じ、期末テストに向けて自分なりの対策を考えました。

まず私が行ったことは、範囲表をよく読むことです。範囲表には、どの単元が中心に出されるかや、どのような問題に注意すべきか、ヒントが書いてあります。次に、確認した単元や注意する問題がのったワークを解きなおしたり、ワークの章のまとめのページを解きます。このような対策をたて、実行できたことが良かったなと思いました。

反面、反省点は、理科や社会など覚えることが多かった教科を優先してしまったので、数学への対策が足りなかったと感じました。次は、まんべんなく勉強がいき届くように計画をたてたいです。

続いて、心に残った経験です。私は夏休みに、異文化体験学習で、「ブリティッシュヒルズ」へ行き、三日間英語で会話するという生活をしました。そこでは、熟語を楽しく学べるゲームやスピーチの練習を行い、自分の技能を高めることができました。また、施設内のイギリスのお茶やお菓子を楽しむことができるカフェでは、メニューが英語で書かれていて、英語を使って注文したり、外国の方のスタッフさんと会話をしたりしました。このようなことから、日常的な英会話を学ぶことができました。

この経験から、私は英会話にさらに関心を持ち、興味を深めることができました。

前期は、環境が大きく変わったりして大変でしたが、このような経験と、自分なりの反省を見つけることができました。後期ではたくさんの方の経験を、今よりもできることを増やしていきたいです。

**みんなの思いをのせ、実りの秋へ・・・後期も子どもたちを全力で応援します！**

(紹介させていただきました：野尻)

